

令和4年12月13日

連合地区・地域剣道連盟・部
指導者 各位

公益社団法人福岡県剣道連盟
会長 青柳 俊彦
(公印省略)

剣道指導の体罰根絶に向けて（通知）

師走の候、地域剣道連盟および剣道教室（道場）の指導者におかれましては、日頃より当連盟の事業にご支援ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、先般のテレビや新聞等の報道でご存知のとおり、本県の高校生が一昨年夏に部活動の指導が原因で自ら命を絶つという痛ましい事案が発生しております。全国的に他のスポーツも含めて、体罰根絶への取り組みを強化している中での出来事で、当連盟は福岡県の剣道を統轄し代表する団体として、この事案を重く受け止めなければならないと考えております。剣道だけでなくどのスポーツにおいても指導者の体罰や暴力は許されるものではありません。指導者の言動には大きな責任があり、その言動で子供たちを傷つけることは決してあってはなりません。

つきましては、福岡県高体連剣道専門部へは、再発防止に向けて取り組むよう指導いたしました。地域剣道連盟および剣道教室におかれましても下記を熟知していただき、年齢、熟練度、体格等を十分考慮して子どもたちへの指導にあたられますようお願いいたします。

記

1. 全日本剣道連盟における倫理に関するガイドライン
2. 福岡県剣道連盟 倫理規程